

# おでかけだより

新春号 NO. 52

平成29年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』

発行責任者：樋口 蓉子

〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103

TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## 新年あけましておめでとうございます



理事長 樋口 蓉子

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

おでかけサービス杉並も2005年2月の事業開始以来11年が経過し、皆様のご支援をいただきながら、“誰もが暮らしやすいまち”をめざして活動しております。

去年は、社会的にも杉並区においても「福祉」を巡って、様々な動きがありました。介護保険制度など制度内のサービス提供が減少する中で、人々の生活を支えるためにNPOなど地域住民による活動や事業が必要とされるような動きがあり、区においても「生活支援体制整備事業」が始まり、その検討におでかけサービス杉並からも参加しています。

そのような状況下で、私たちの移動サービスやNEKOの手サポート、けやきの見える家への依頼・参加が増えてきています。ゆうゆう館（区委託事業）においても、元気高齢者の居場所であるとともに、制度内サービス（介護保険デイサービス）を受けながら引き続き地域での交わりを維持できる場所としての機能が必要となっています。もび～るにも多岐にわたるご相談や依頼が寄せられています。制度の下に行われるフォーマルサービスと地域住民も参加してのインフォーマルサービス（サービスと言ってよいのかわかりませんが）がうまくかみ合ってこそ、“誰もが暮らしやすいまち”と言えるのだと思います。それが、久しく言われている『コミュニティ形成』ではないでしょうか。

この11年間に私たちがつくりあげてきた様々な活動・事業を組み合わせ、地域にある機関や団体との連携を図り、市民の主体性を生かしながら、本年も活動を続けていきたいと思っております。

本年もメンバー一同、これまで以上に一層の努力をしてみたいと思いますので、どうぞ皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、心より祈念申し上げます。



## 今年の抱負 移動サービス

理事 島津 俊男

去年は、大きな事故もなく無事に一年を終えることができました。また、運行回数が7月以降毎月400回を超え今年度の目標である4300回を十分クリアできそうです。

最近では、通院・通所等だけでなくお楽しみや趣味のための運行も増えてきて、おでかけサービスが地域の高齢者や障がいを持った方々の移動手段として、ますますお役に立てていることを嬉しく思います。

世の中は高齢化社会が進行中であり、移動サービスのニーズは今後ますます高まっていくと思われます。今年は、そのニーズに確実にこたえつつ、運転協力員講習会等をとおして今一度基本に立ち返って、安全、安心、快適な運転を心掛けてまいります。

また、運転協力員が楽しく喜んでこの活動に参加できるよう、横のつながりも大切にしていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。





## 今年の抱負

### ゆうゆう桃井館

理事 竹永 信子

ゆうゆう桃井館は昨年10周年を迎え、5月にはお祝いの会を開催することができました。これまで大変多くの皆様に支えられてきましたことを改めてお礼申し上げます。さてこれからの10年、杉並区の施設再編整備計画にゆうゆう館も組み込まれていますので、先々の見通しは立ちませんが、一年一年高齢化が進み、ゆうゆう館の役割は大きくなるばかりです。高齢者が歩いて行かれる、人と交流ができる、趣味や健康維持のための活動ができる、情報を得られる、「地域のたまり場」がますます必要になることでしょう。ゆうゆう桃井館では、どなたにとっても利用しやすく心安らぐ場となりますように、今まで以上にきめ細かく配慮の行き届いた対応を、スタッフ一同で心がけたいと思います。今年も皆様のご利用をお待ちしています。



### ゆうゆう善福寺館

理事 高橋 千佳子

2016年は、併設の保育園との交流が随分と深まりました。職員同士はもちろんですが、園児もスタッフのことをよく覚えてくれています。街で出会ったとき、「あっ、ゆうゆう館の人だ!」と叫んでくれた時の喜びがあります。11月には、「日フィル出張コンサート」弦楽四重奏を実施しました。至近距離での生演奏の曲に合わせ身体をスイングされて、心地よい参加者の表情を拝見出来た時の喜び。様々な協働事業の参加の後、その内容に満足していただき「楽しかった!」「来てよかった!」との感想を受けた時の喜び。「ゆうゆう館に通われるようになって、とても元気で生き生きされている。」と利用者さんのことを第三者の方が教えてくださった時の喜び。スタッフ同士が力を合わせてお互いを思いやり補い合って、運営を進め、うまくいった時の喜び。多くの慶びに包まれた2016年でした。2017年も、利用者さんに「来てよかった!」「参加して良かった!」「また行きたい!」と思っていただけるゆうゆう善福寺館の運営に努めます。是非、おでかけください。



### NEKO (ネコ) の手サポート

理事 野口 恭子

昨年は3年の区切りとして2月に活動報告会、その後8月にネコの手サポーター養成講座を開き、活動の充実を図りました。新たな担い手も増え、様々な依頼にこたえることができました。定期的な散歩や診察の付き添い、話し相手などの他に、部屋の片付け、庭の芝刈り、お使いなどの依頼もありました。また、もび〜るの『付き添い冊子』に掲載されたこともあり、ケアマネジャーからの新規の問い合わせも数多くありました。コーディネーターとしては、依頼者とサポーターのベストマッチングをめざしています。最初は心開けなかった方が、回を重ねる毎にサポーターとの信頼を深めていく様子は感慨深いものがあります。ネコの手活動の良いところは、介護保険のヘルパーではないからこそできる、臨機応変な細やかな対応ができることだと思います。課題は山積していますが、今年も良い出会いがありますように。

### オープンリビング

#### けやきの見える家



運営スタッフ 佐々木 庸子

毎週木曜日に開いているけやきの見える家は昨年末で114回を数えました。ヴァイオリンやフルート、薩摩琵琶の演奏を聴いたり、落語や地域の養蜂家のお話を聞いたり楽しい企画の日は大勢の参加者でにぎわいます。去年は同じ地域でサロンを開いている仲間たちと協力して「認知症になってもわたしはわたし」「ご近所つながり上手になろう」と、2つの講演会を開催し、地域のつながりを考え直すきっかけになりました。本年もけやきの見える家ではミニコンサートや地域の方のお話を聞く企画を立てています。地域のお茶のみ場として、なごやかな、楽しい場所を提供していきたいと考えています。



### 外出支援相談センターもび〜る

もび〜る事務局長 秋山 糸織

もび〜るは、外出がむずかしい方をサポートする相談窓口です。杉並区より事業を受託して9年が過ぎました。道でタクシーをひろうのが大変という方から、重介助の必要な方まで、その方に適した交通手段や、おでかけに付き添う人を選ぶお手伝いをしています。11月には、ケア24（高井戸・南荻窪）と連携し、外出企画「誘い合わせてでかけよう 荻窪の庭園と歴史探訪」を催行いたしました。企画を考えるとところから「ふり返りの会」まで約半年、地域の方たちと一緒に作り上げる中で、まちの中にご縁がひとまわり広がり、深まっていくという素晴らしい体験をさせていただきました。2017年も、「外出」というキーワードで、人と人、団体や機関がつながっていくような企画ができたらと思っています。